

INTERNET YELLOW PAGES



INTERNET

YELLOW

PAGES

MUSEUM

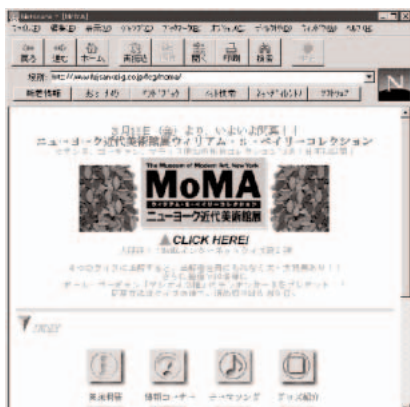
Vol.17 : Museum

「美術館特集」：今月のイエローページは美術館。モニターを通して世界の芸術を体験しよう！

ニューヨーク近代美術館展

ACCESS to <http://www.fujisankei-g.co.jp/fcg/moma/>

MoMA にこれから行く人もすでに行って鑑賞した人も楽しめるホームページ



3月15日から6月9日まで上野の森美術館で開催中の「ニューヨーク近代美術館展 ウィリアム・S・ペイリーコレクション」に関



する情報満載のページ。言うまでもないがフジテレビを見ているとよく宣伝されているあの「MoMA」である。

このページでは「ウィリアム・S・ペイリーって誰!？」などといった超初心者の質問にも丁寧に答えてくれる「MoMAまめ知識」とか、藤井フミヤが歌うこの美術展のテーマソング「Hello my tears」の紹介などといったものが見られる。また、MoMAのテレビCM「MoMAの日」編のダイジェストや撮影裏話をが非常に面白い。さらに、「作品紹介」のコーナーでは、ゴッダンの「洗濯する女たち」やピカソの「二人の裸婦」など目玉の展示品について説明をしているので、行く前の予習にはぴったりである。センスのよさが随所に光るページで、MoMAに特に興味のない人でも十分に楽しめるだろう。

「HOT YELLOW PAGES」をしよう。インターネットマガジンに付属しているインターネットナビゲーターCDには、ここに紹介されたサイトを集めた「HOT YELLOW PAGE」コーナーがある。ここでは興味をもったホームページの名前をクリックするだけで、そのサイトにジャンプすることができる。キーボードからURLを打ち込む必要がないので、ラクチンというわけだ。





ギャラリー・アンリ

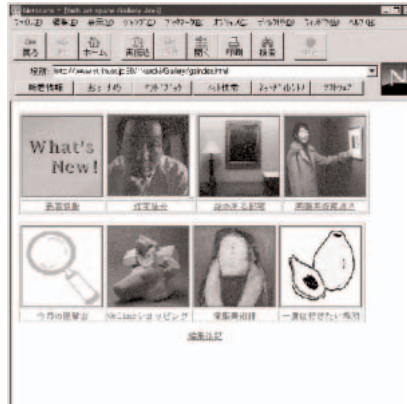
ACCESS to <http://www.st.rim.or.jp:80/~kuroki/Gallery/home.html>

現代美術を気軽に楽しむための情報満載ホームページ



現代美術と言えどこが敷居が高いと感じる人もいられるかもしれないが、それを低くしてくれるのがこのホームページだ。

現代美術作品を購入した人の自宅に行き、現代美術作品をどう家の中に飾っているかな



どをレポートする「絵のある邸宅」や、知って良かった「美術用語解説」といった親しみやすい内容のページである。

とくにおすすめなのが「初めての画廊・美術館巡り」で、女子大生やOL四人組などが

初めて画廊巡りをした感想やその様子が書かれている。

女子大生の「高澤さんの作品ってよくわからないけど、こーゆーのも作品なのかーって感じ」といった発言を読んでいると、現代美術に対する近寄りたさも解消されるような気がする。

このページはほかにも、毎月1人の作家の方に焦点をあてて、その作家の作品などを紹介する「今月の特集」や「今月の展覧会」、「Onlineショッピング」、「電腦美術館」といったものもあり、盛りだくさんの内容である。

なお、このページの内容は本誌のCD-ROMに収録されているので、電話代を気にせず心おきなく見ることができる。

徳川美術館

ACCESS to <http://www.cjn.or.jp/tokugawa/index-j.html>

日本文化の伝統に浸ることのできる徳川美術館のホームページ



名古屋市東区徳川町に位置する、日本で3番目に古い私立美術館、徳川美術館のホームページ。

美術館には徳川家康が愛用した品々や尾張徳川家に伝わる貴重な宝物や武具など1万



数千点の古美術品が収蔵されているとのこと。このページでは開館時間や美術館への交通といった周辺情報はもちろん、実際の展示物やそれに関する解説も見られる。

展示物の鑑賞は、クリックابلマップで館

内を自由に歩ける形式になっている。

これらの展示室では、国宝8件、重要文化財46件、重要美術品44件を含む、美術館の膨大な美術品の一部をページ上で鑑賞できてしまう。

おすすめは第6展示室で、現存の絵巻の中では最古の作品である源氏物語絵巻が展示されている。これは、11世紀初頭に紫式部が著した源氏物語を絵画化したもので、美しい料紙に本文の一部を書写して、つないでできている。日本美術を代表する最も有名な絵巻物である。このページを見て各展示品の解説を読んで予習してから、実際に徳川美術館に足を運ぶと、美術館訪問がより実り多いものになるのではないだろうか。

日本民藝館

ACCESS to <http://www.race.u-tokyo.ac.jp/mingeikan/entrance.html>

日本の伝統民芸を、じっくりと味わいたいならここ



この日本民藝館は、「用の美」を1つの美の基準とし、作品を通じてその美を伝えていこうという美術館である。「用の美」とは、日常で使われることを目的としたモノのなかに、自然に生じる暖かみある美しさのことだ



そうだ。そのためか、この美術館に展示されている作品は、どれもこれも実用的なものばかりだ。

画面中央の障子の窓をクリックすると、美術館に入れる。館内のクリックابلマップ現

れ、大皿やつぼ、染め物や漆器など、膨大な量の展示品をこのページの中で見れる。数多くの展示品にそれぞれ詳しい解説がついているので、さまざまな民芸品の知識が身につくことだろう。

考えてみればそれらの作品は、実際にだれかの手によって使われ、時を経ることによってその美しさが生まれきたというわけだ。

日本民藝館というだけあって、日本の作品しか扱っていないのかと思うそうではない。「世界の工芸展示室」ではアジアやアフリカ、ヨーロッパの民芸品も展示している。このコーナーは、異国情緒のあふれるさまざまな民芸品が展示されているので、エスニック雑貨が好きな人にとってはたまらないものがある。ぜひのぞいてみてほしい。

Leonardo da Vinci Museum

ACCESS to <http://cellini.leonardo.net/museum/main.html>

レオナルド・ダ・ビンチの天才ぶりに思う存分驚愕できるページ



カリフォルニアのLeonardo Internetというプロバイダーのページの中にある「レオナルド・ダ・ビンチ美術館」。ここは、ルネッサンス期に芸術、科学、哲学など多方面で大活躍したあの天才 Leonardo da Vinci の美術



館である。

メインギャラリーは、油絵、機械などの図案、人体などのスケッチ、レオナルド・ダ・ビンチの生涯といったセクションに分かれている。展示されている作品には詳しい説明文

もついている。

もちろんモノリザや最後の晩餐といった有名な作品も説明付きで見ることができ、画像をクリックすると大きなサイズで観賞することも可能だ。

そのほかにも、ダ・ビンチが描いたヘリコプターのイラストや非常にリアルな人体の解剖図などといった多数の展示があり、芸術にも科学にも深く通じていたダ・ビンチの天才ぶりに驚愕することができる。

このプロバイダーのこのページは1週間に100万以上のヒットを記録しているという。これだけのユーザー見られるとなるとプロバイダー業者の方も繁盛しているのではないだろうか。

INTERNET
YELLOW
PAGES
MUSEUM

山梨の美術館

ACCESS to <http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/yamanashi.html>

山梨の観光ガイドにもなるページだ。美術館情報満載！



山梨県のさまざまな情報を掲載しているページ。ここには美術館情報や美術館ガイドをはじめ、山梨のアミューズメント施設などの山梨に関する膨大な情報がある。

「美術館ガイド」のコーナーでは山梨のさ



さまざまな美術館や博物館の開館時間や交通アクセスマップ、連絡先や概略説明を見ることができ、ちょっとした資料として役立つようである。

また、「美術館情報」のコーナーには、山

梨県立美術館、清春白樺美術館、河口湖美術館、昇仙峡影絵美術館、山中湖高村美術館など全部で7つの美術館についての詳しい情報もある。

たとえば、ミレーの美術館として親しまれている山梨県立美術館のページは、ミレーの作品についての詳しい説明や展示会のレビュー、また常設展である「ミレーコレクションと西洋絵画」の画像データなどといった盛りだくさんの内容である。

このような充実した内容で、ほかの美術館についても見られるので、全部は見きれないくらいである。なお、このサーバーは美術館情報のほかにも山梨のイベントインフォメーションや温泉ガイド、アウトドア情報などの山梨情報が満載である。

オルセー美術館展

ACCESS to <http://www.inter.co.jp/nikkei/orsay>

神戸で4/13から6/23日まで開催されているオルセー美術館展のページ



東京で3/31日まで開催されていたオルセー美術館展が神戸に場所を移し4/13日から6/23日まで開催される。

このページでは展の開催概要といった情報はもちろん、プレビューのページではこの展覧



会の展示品を觀賞したり解説を読んだり、行く前に展覧会の勉強ができる。

オルセー美術館は、10年前の開館以来、セーヌ河をはさんで対岸に位置するルーヴル美術館と人気を二分している美術館である。

印象派絵画、彫刻、工芸などあらゆる分野の近代美術の優れた作品を数多く所蔵している。

今回の展覧会では、世界に先駆けてオルセー美術館のコレクションを総合的に紹介するそうだ。テーマは、近代都市パリの成立の過程で、社会生活、文化・芸術のあらゆる局面を貫くという「モデルニテ」(近代性)。このテーマに合わせて精選された180点をこえる作品が展示される。

このページでは展覧会の一部の作品を「レアリスムとオリエンタリズム」「近代都市」「芸術と産業」「セザンヌからナビ派へ」などといった美術史的な視点から詳しい解説とともに見ることができ、非常に勉強になる。

ASCII art gallery

ACCESS to <http://www.ioc.ee/~valdo/ascii/english.html>

限られた文字で、さまざまなことを表現するアスキーアートの美術館



最近、「アスキーアートって何？」という読者も多いかもしれない。パソコン通信などではよく見かけるが、アルファベットや記号などで、文字以外のさまざまなことを表現することである。たとえば、笑い顔なら(^_^/



というように文字だけの電子メールにちょっとした彩りを添えてくれる。

このアスキーアートも究めればここまでくるかというのがこの美術館なのである。

この限られた表現方法で、犬や猫、ドラキ

ュラやはてはスターウォーズのデスターまで描いているのである。しかも、どれもこれもなんとも味があつていい。ここに集められたアスキーアートは60種類近くあるが、すべてが鑑賞に値する。文字だけの表現方法であるにもかかわらず、いきいきとした動きが感じられるから不思議だ。

また、本格的なアスキーアートに挑戦したいという人のために、さまざまな情報を扱っているコーナーもある。ここでは、アスキーアートを制作するツールや、具体的に曲線などの作り方など、かなり細かいハウツーが書かれている。なんと、アスキーアートで立体視画像まで作ろうとしているというのがすさまじい。このアートははかりしれないものがあるといえる。

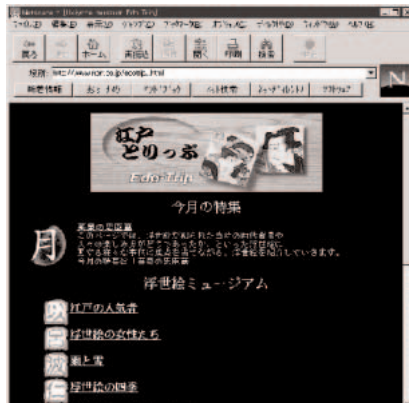
Ukiyo-e Museum

ACCESS to <http://www.nbn.co.jp/IndexJ.html>

独特の視点から浮世絵を展示している美術館



浮世絵と言えば、昔お茶漬けの袋についているのをふと思い出したが、ここはさまざまな浮世絵を鑑賞できる美術館である。このコレクションは、いわゆる巨匠の作品は多くない。しかし、それは当時普通に流通し、庶



民が鑑賞していた浮世絵本来の姿を知ってほしいからだと言う。

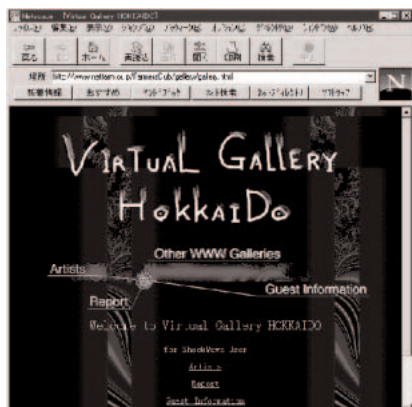
この美術館は、作品の分類の仕方がユニークである。作家別に分かれているのではなく、「江戸の人気者」とか「江戸名所案内」とい

ったように、浮世絵が作られた時代背景や人々の好みといった視点で分類されている。そのため、浮世絵を鑑賞しながら、江戸時代にはこんな人がアイドルだったのかとか、江戸時代の人はこんなところが観光名所だったのかなどと、当時の風俗に思いを馳せたり勉強することができるのだ。もちろん、各作品には詳しい解説もされているので、浮世絵の知識も身につくというわけである。また、月岡芳年の幽霊・妖怪のコーナーはぜひ見てほしい。いかにも日本の幽霊だといった迫力のある絵が満載で、その独特の雰囲気と背筋が寒くなることうけあいである。怪談にはちょっと早いかもしれないが、ちょっとのぞいてみてほしい。

バーチャル・ギャラリー・北海道

ACCESS to <http://oroppas.sec.or.jp/Gallery/GALLERY.html>

「日本雪の彫刻家の会」のコーナーは必見だ



北海道在住、または北海道にゆかりのある芸術家を紹介するのがこのバーチャル・ギャラリー・北海道である。絵画、彫刻、建築などさまざまな分野の芸術家の作品を掲載して交流する場所を提供することで、北海道が



らどんな作品が生まれてきているのかを広く紹介するのが目的としている。

作家の作品紹介などはもちろんのこと、「情報コーナー」では、ニューヨークの美術学校の教育カリキュラムのレポートをしていた

りするので、ニューヨークのアート事情を知りたい人には役に立つことだろう。また、子どもの作品を募集展示している「フォー・キッズ」、学生の作品を展示している「フォー・スチューデント」といったコーナーもあり、美術を通してたくさん人が交流できるようになっている。

そのほか、このホームページでおすすめるのが「雪の彫刻」のコーナーである。札幌雪祭りなどでおなじみの雪の彫刻の制作過程が、写真付きで詳しく解説されているのである。いつかは溶けてなくなってしまうはかない雪の彫刻だが、その制作のためは氷点下の屋外で何日もかかるのだと思うと頭が下がる思いがする。

The Official Salvador Dali Museum World Web Site

ACCESS to <http://www.highwayone.com/dali/daliweb.html>

シュールリアリズムの巨匠、サルバドール・ダリのオフィシャル美術館



時計が溶けている絵などその独特の作風と、シュールリアリズムの巨匠であるだけの奇抜な言動などで有名なサルバドール・ダリ美術館のホームページがここだ。



ここではダリの主な作品が詳しい解説とともに紹介されている。また、ダリの作品の変化も、時を追って詳しく解説されているので、資料としても役に立つだろう。

そのほか、このページにはダリクイズというものがあり、ダリの人生や作品に関するカルトクイズが出題されている。これに正解すると、ダリのポスターが当たるとのことなので挑戦してみてもどうだろうか。ただし、内容は生半かな知識では通用しないような超難問クラスのものである。

「FRIENDS」のコーナーでは、ダリのマウスパッドやシャツなどが販売されていたり、ダリの作品をモチーフにした壁紙データがここからダウンロードできるようになっている。シュールな絵のマウスパッドにシュールな壁紙でコンピュータをシュールに飾るのもいいかもしれない。

Other WWW,FTP and Gopher Servers

国内の公立の美術館

The National Museum of Modern Art, Tokyo

<http://www.momat.go.jp/index-jpn.html>

東京国立近代美術館のページ。展示会のお知らせや、年間スケジュールなどを掲載している。また、収蔵している洋画や日本画の所蔵作品の検索ができる。

東京都現代美術館

<http://www.arcsy.co.jp/city/art/mot/mot01.html>

アンディ・ウォーホルや駒井哲朗の作品を公開している。施設案内などもある。

Yokohama Museum of Art

<http://www.soum.co.jp/yokohama/>

横浜美術館のホームページ。1月下旬に行われたルイス・ボワロ写真展や3月下旬に行われた横浜美術館映画上映会が紹介されている。

水戸芸術館

<http://www.soum.co.jp/mito/atm-j.html>

水戸芸術館のホームページ。現代美術展の紹介などを行っている。

千葉市美術館

<http://w3.hike.te.chiba-u.ac.jp/ChibaCity/news/951015/951015j.html>

去年の11月3日(祝)開館した千葉市美術館のページ。館内情報をはじめ開館特別記念展に関する情報などがある。

和歌山県立近代美術館

<http://www.wakayama-lib.go.jp/KS/bijyu/index.htm>

和歌山県立近代美術館の案内ページ。施設の概要や交通案内図などが見れる。

Hyogo Prefectural Museum of Modern Art

<http://www.senri-i.or.jp/museum/jhyogo.html>

兵庫県立近代美術館のホームページ。Virtual Museumでは彫刻家ヘンリー・ムーアの作品が紹介されている。

企業の開いている美術館

ブリヂストン美術館

<http://www.arcsy.co.jp/city/art/brg/brg01.html>

常設展示のページではクロード・モネやポール・セザンヌなどの作品を展示している。案内地図や年間スケジュールなども掲載している。

TVZ ARTSQUARE

<http://www.miura.com/tvz/gallery/mitsukoshi/art1.html>

新宿の三越美術館で行われているミケランジェロ展についての情報やメトロポリタン・ミュージアム・オブ・アートのアートグッズも販売している。

DNP Gallery

<http://www.dnp.co.jp/jis/gallery/contents.html>

大日本印刷のアートギャラリーのページ。グラフィックアートを中心とした作品を見れる。

FILE OF LAFORET MUSEUM

<http://www.ijnet.or.jp/moribldg/mori66-sj/laforet-sj/museum/filemuseum.html>

ラフォーレミュージアムで行われた1982年からのイベントをチェックすることができる。

ART PARADISE Home

<http://www.recruit.co.jp/Garden/index-j-s.html>

リクルートの主催するYOUNG ARTIST COMPETITIONは若い作家を対象とした公募展で、このページでは入選作品が公開されている。

安田火災東郷青児美術館

http://www.toppa.co.jp/yasuda/museum/museum_title.html

フィンセント・ファン・ゴッホをはじめポール・ゴーギャンやポール・セザンヌなどの数々の名作が展示されている。

太田記念美術館

<http://www.arcsy.co.jp/city/art/ota/ota01.html>

東京都渋谷区にある太田記念美術館のページ。特別展示である「宮川長春とその系譜」が案内されている。



らくがき美術館

<http://www.copernicus.or.jp/cope/extra/str0.html>

横浜や新宿のクールな落書きの写が集められている。

TOKYO FUJI ART MUSEUM

<http://scc1.t.soka.ac.jp/Fujibi/fujibi.html>

東京八王子市にある東京富士美術館のページ。

サンリツ服部美術館

<http://shinshu.epson.co.jp/shinshu/sjis/kyouyou/bijutsu/sanritsu/sanritsu.htm>

長野県諏訪市にあるサンリツ服部美術館のページ。茶道具や古書画など、国宝や重要文化財クラスの美術作品が紹介されている。

地方の美術館

NARIWA MUSEUM

<http://www.st.rim.or.jp/~momotaro/MOMO/NARIWA/MUSEUM.HTML>

西洋画の画家であった児島虎次郎の作品と彼が収集したコレクションが数多く公開されている。

KAWAMURA MEMORIAL MUSEUM OF ART

<http://www.soum.co.jp/kmma/kmma-j.html>

千葉県佐倉市にある川村美術館のページ。画家マーク・ロスコの展示会について紹介している。

Syunsen Art Musuem

<http://www.sannichi-ybs.co.jp/syunsene.html>

山梨県の榎形町立春仙美術館のページ。歌舞伎浮世絵作家の名取春仙の作品や資料を収蔵している。特別展では浮世絵名品展が公開されている。

清春白樺美術館

<http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/art/kiyoharu/kiyoharu.html>

文学の一つの流れだった白樺派の美術館。武者小路実篤や志賀直哉、高村智恵子の作品などが展示されている。

長野県信濃美術館・東山魁夷館

<http://shinshu.epson.co.jp/shinshu/sjis/kyouyou/bijutsu/shinano/shinano.htm>

日本を代表する日本画家である東山魁夷の作品を数多く収蔵した美術館。収蔵品紹介のページでは「白馬の森」「行く秋」などの美しい作品を見れる。

河口湖美術館

<http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/art/kawaguchi/kawaguchi.html>

河口湖のほとりに位置する美術館。常設では富士山をテーマにした絵画が展示されている。特別展の案内なども見れる。

昇仙峡 影絵美術館

<http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/art/kagee/kagee.html>

世界にたった1つしかないという真っ暗な展示室をもつ美術館の案内ページ。山下清、竹久夢二の原画や版画が約80点展示されている。

山中湖高村美術館

<http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/art/takamura/takamura.html>

現代日本画をはじめアルヌーボーのガラス工芸などが見れる。また、展示会の案内などが掲載されている。

山中湖美術館

<http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/art/yamanaka/yamanaka.html>

19世紀後半から現代にいたる芸術性の高い版画や挿画本を収蔵している美術館。美術館の施設が詳しく紹介されている

Gallery TRAX

<http://www.yokogawa.co.jp/Measurement/Yamanashi/art/trax/trax.html>

山梨県にあるギャラリー・トラックスのページ。Previous Exhibitionsでは去年の暮れに行われた“陶展”が詳しく紹介されている。

諏訪北澤美術館

<http://shinshu.epson.co.jp/shinshu/sjis/kyouyou/bijutsu/kitazawa/kitazawa.htm>

アルヌーボー期の工芸家エミール・ガレの代表作である「ひとと苜ランプ」などを紹介している。

ハーモ美術館

<http://shinshu.epson.co.jp/shinshu/sjis/kyouyou/bijutsu/harmo/harmo.htm>

長野県諏訪市にある美術館。代表的収蔵作品であるアンリ・ルソーの作品「花」や「果樹園」などといった絵画が見られる。館内の案内などもある。

The Kyoto Arashiyama Orgel Museum

<http://www.cjn.or.jp/automata/index.html>

京都嵐山オルゴール館のページ。さまざまなオルゴールを紹介している。それらのデータはムービーでも見れる。

久万美術館

http://www.st.rim.or.jp/~keeeey/kuma_museum/

愛媛県にある久万美術館のページ。ヴァーチャル・ミュージアムでは洋画、陶器などを詳しい解説入りで見れる。

成川美術館

<http://www.space.ad.jp/vcity/NARUKAWA/index.html>

1988年に箱根に開設した成川美術館のページ。インターネット特別展示案内ではたくさんの日本画を中心とした作品を見ることができる。

光と緑の美術館

<http://www.bekkoame.or.jp/~fgallery/hikaritx.htm>

相模原市にある光と緑の美術館を紹介しているページ。過去の企画展レビューのページでは、マリノ・マリニの作品を見ることができる。

宇奈月国際会館「セレネ美術館」

<http://www.sphere.ad.jp/aki/unazuki/selene/index.html>

源流や黒部ダム湖などの黒部峡谷をモチーフとした平山郁夫の日本画作品展が公開されている。

浮世絵

The Japan Ukiyo-e Museum Guide

<http://www.cjn.or.jp/ukiyo-e/index-j.html>

写楽をはじめとする浮世絵を公開している。

歌舞伎浮世絵画廊

<http://www.waseda.ac.jp/enpaku/gallery/gallery.html>

「血屋敷」や「忠臣蔵」などの歌舞伎を題材にした浮世絵ギャラリーのページ。

Museum

<http://j-entertain.co.jp/Bellsystem/SharakuWorld/Museum-j.html>

浮世絵美術館のホームページ。東洲斎写楽の作品を時間を追いながら紹介している。

画廊

Artist Gallery

http://www.Q-LAND.co.jp/ARTIST_VILLAGE/gallery.html

彫刻家、クレイオブジェ、グラフィックデザイナーなどの作品が作家とともに紹介されている。それらの感想を送ることもできる。

千鳥ヶ淵の小さな美術館

<http://wellmet2.wellmet.or.jp/~artmet/museum/petit/index.html>

プティミュゼというギャラリーの紹介ページ。過去の展覧会や春のシャガール3大企画の案内情報を紹介している。

ArtScape of the Far East

<http://pckiso3.cs.shinshu-u.ac.jp/artscape/index.html>

日本人の現代美術家による数々の作品が展示されている。

GALLERY ART U

<http://www.threeweb.ad.jp/~artu/indexj.html>

大阪にあるアートギャラリー、アート・遊のページ。現代美術の歴史ジャンルごとの作品を見れる。

GALLERY TSUYOSHI OKUBO

<http://www.tcp-ip.or.jp/~okubo/>

不思議な現代美術作品が公開されている。

Virtual Gallery

<http://www.atom.co.jp/GALLERY/index-j.html>

現代美術、写真などの作品と作家の略歴などが紹介されている。

MUSEUM OZ

<http://www.sphere.ad.jp/artf/ht/ozindex.htm>

毎月一回、作家を決めて絵画を中心に展示している。また、ミュージアムショップもある。

ARTIST INDEX homepage

http://www.iiynet.or.jp/DIOS/index_j.html

関西のギャラリー情報やアーティストの作品情報などを掲載している。

SEI Illustration Gallery!

<http://www.bekkoame.or.jp/~msej/>

成光雄氏のデジタルイラストレーションを展示しているページ。

学校が開いている美術館

SAPPORO SHINKAWA HIGH SCHOOL

<http://www.netfarm.or.jp/FarmersClub/kidsfarm/shinkawa/shinkawa.html>

札幌新川高校美術部のページ。CG WORKSのコーナーでは生徒が描いた作品が見れる。

『こだわり美術館』

<http://www.fes.miyazaki-u.ac.jp/HomePage/clas/clas6-1/artwork/museum/museum.html>

宮崎大学附属小学校の生徒が見つけた美しいもの、面白いもの、素敵なものを集めて美術館にしたページ。

Sketch festival

<http://sparc1.yasuda-u.ac.jp/suzuhari-es/sketch-nov94/index.html>
広島市鈴張小学校の生徒による水彩画の作品が公開されているページ。

広島市立大学芸術展

http://www.hiroshima-cu.ac.jp/japanese/ASIA/Event/cu_event.html

これまで広島市立大学で行われた展示会の紹介や作品が公開されている。

ようこそ篠ノ井西中学校美術科研究室

<http://www.shinonoinishi-jhs.nagano.nagano.jp/artroom.htm>
生徒作品展示室のページでは2年生の描いた作品が展示されている。

東京学芸大学附属高校美術館

<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/ART/arthomej.html>
インターネットを美術教育に生かすために作られたページ。展示室では授業で制作された油彩画や彫刻などの作品を見れる。

Hekiga Contest

<http://www.asahi-net.or.jp/~BJ7T-TKR/hekiga.html>
沖縄本島北部の本部町での第1回護岸壁画コンクール作品集のページ。

第29回全道高等学校美術展

<http://www.netfarm.or.jp/FarmersClub/kidsfarm/koubunren/koubunren.html>
ギャラリーのページでは、全国の高校生1・2年生が創った美術作品を中心とした135点の作品を紹介している。

個人の作品を展示した美術館



Jam#001

<http://www.st.rim.or.jp/~yurio/>

テーマの素材を、ネットワーク上のさまざまな人が加工することで作品にするという試みを行っている。

きくちゃんびじゅつかん-kikuchan's Museum

<http://www.st.rim.or.jp/~kikuchan/oeakaki/oeakaki.html>
白石キクエさんの「きくちゃんびじゅつかん」のページ。Windows NTのペイントブラシで描かれたイラスト集。

FactComm Gallery

<http://www.factcomm.co.jp/gallery/Jtype.html>
坂井公秋氏の作品が紹介されている。また、氏のプロフィールや個展などについての情報も掲載している。

Kei's gallery

<http://www.asahi-net.or.jp/~YW4K-ISI/art.html>
Katsuyuki Ishii氏のコンピュータグラフィックス作品が公開されているページ。

Keiichiro Hoashi's gallery

<http://www.shirai.info.waseda.ac.jp:8001/~hoashi/Gallery.html>
シンプルなペイント系のソフトであるxpaintのみで制作した作品を展示しているページ。

Welcome to the doodle museum

<http://marylin.is.s.u-tokyo.ac.jp/%7Eigarashi/doodle/>
ドルードル美術館のページ。ドルードルとは落書きの合体語で“これ何に見えませるか?”という意味とか。さまざまな投稿作品を見れる。

塚原美術修復研究所入口ホール

<http://www.bekkoame.or.jp/~atsuka/main.html>
古くなったり、壊れてしまった美術品を修復させるシミュレーションを紹介している。また、美術関連のリンク集も充実している。

自由広場

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/ArtEd/JIYUU.html>
絵、写真、ビデオなどの子供の作品を募集している自由広場のページ。

CG Gallery

<http://foolhp.ap.kagu.sut.ac.jp/~katayama/cg-gallery/gallery1.html>
美少女アニメのアートギャラリーページ。

Pictures of Dinosaurs

<http://as2.c.u-tokyo.ac.jp/~morimon/gallery.html>
ペイントブラシで描いた恐竜のイラストギャラリーや落書きギャラリーを見れる。



象の美術館

http://www.wakhok.ac.jp/zou/elephantG_ja.html
立体視画像や著作権フリーの素材集などがある。地下の「秘象の作品群」にある象の絵がおすすめ。

ウスコアヤール絵画展

<http://www.union.or.jp/paecf/>
ペルーアマゾン地方のプカルバにあるウスコアヤール絵画学校の作品展を紹介しているページ。アマゾンの大自然を描いた作品を見ることができる。

国内の美術関連のリンク集

Museum Information Japan

<http://www.cis.dnp.co.jp/museum/icc-e.html>
美術館メディア研究会のページ。日本中の美術館にリンクを張っている。

Gallery Candy

<http://www.bekkoame.or.jp/~cmddata/>
アート関係のサイトへのリンクや多くのサーチエンジンへのリンクがある。

Event in Japan Musiums

<http://jin.jcic.or.jp/event/museum/>
日本中の美術館のリストがあり、電話番号がわかる。ただし英文のみ。

Museum In Tochigi

<http://ks001.kj.utsunomiya-u.ac.jp/museum/museum.html>
栃木県内の美術館がリンクされているページ。クリックフルマップで検索できる。

世界の有名な美術館

The Metropolitan Museum of Art

<http://www.metmuseum.org/>
ニューヨークにあるメトロポリタン美術館のページ。展覧会のスケジュールやニュースなどの情報を掲載している。

Annette Messager at MoMA, NY

<http://www.sva.edu/moma/messenger/>
ニューヨーク近代美術館(MoMA)のページ。展示品や作家の紹介などを見れる。

Welcome to the Whitney Museum of American Art

<http://www.echonyc.com/~whitney/>
ホイットニー美術館のページ。数々の現代アメリカンアートが展示されている。

Louvre W3

<http://mistrall.culture.fr/louvre/>
ルーブル美術館のページ。館内情報や所蔵品のリストなどがある。また、オンラインマガジンなどもある。

アメリカの大学の美術館

Indianapolis Museum of Art Home Page

<http://ws2.starnews.com/ima/>
インディアナポリス美術館のページ。展覧会のスケジュールや、Collections ではアフリカ、アジアなどの美術作品を展示している。

SFMOMA Home Page

<http://www.sfmoma.org/>
サンフランシスコの現代美術館のページ。ミュージアムショップで扱うグッズなどを見れる。

Krannert Art Museum

<http://www.art.uiuc.edu/kam/>
イリノイ大学の美術館のページ。常設展示物や特別展示会のスケジュールなどがある。また、美術史を学ぶコーナーもある。

The David and Alfred Smart Museum of Art

<http://csmaclab-www.uchicago.edu:80/SmartMuseum/>
シカゴ大学の美術館のページ。アメリカやアジアの美術品のコレクションなどを見れる。

Spencer Museum of Art Printroom Home Page

<http://ukanaix.cc.ukans.edu/~sma/prints.html>
カンザス大学にある美術館のページ。

The Palmer Museum of Art ONLINE

<http://cac.psu.edu/~mtd120/palmer/>
ペンシルバニア州立大学の美術館のページ。彫刻の広場や館内のオブジェなどを見れる。

The Ohio State University at Newark, Art Gallery, USA

<http://www.cgrg.ohio-state.edu/~mkruse/osu.html>
オハイオ州立大学の美術館のページ。過去に開催された展覧会の情報などがある。

海外の現代美術の美術館

The Andy Warhol Museum Home Page

<http://www.warhol.org/warhol/>
Andy Warhol Museum のページ。ツアーでは各フロアの展示品を見ることが出来る。また、ミュージアムショップではグッズのファックス注文を受け付けている。

The Aer Cellar Exchange

<http://www.artcellarex.com/ace/>
現代アートなどの数々の美術作品の販売を行っているページ。

Henie-Onstad Art Center

<http://www.hok.no/>
たくさんの現代アートコレクションが公開されている。

National Museum of American Art home page

<http://www.nmaa.si.edu/>
このギャラリーでは数多くの現代アメリカアートなどを見ることが出来る。また、館長のあいさつを動画や音声で楽しめる。

Carling Gallery

<http://www.carling.se/>
海外のアーティストの現代美術を紹介しているページ。

アメリカの美術館

Artix

<http://www.artix.com/biz/artix/>
ニューヨークにあるさまざまなギャラリーが作品や作家と共に紹介されている。

The Minneapolis Institute of Arts

<http://www.mtn.org/MIA/>
Permanent Collection Galleries では幅広いジャンルのアートが見れる。

Dallas Museum of Art Online

<http://www.unt.edu/dfw/dma/www/dma.htm>
ダラス美術館のページ。ミュージアムギャラリーでは古代のアメリカ美術や現在のアメリカ絵画の作品を見れる。

The Bryant Foundation Collection

<http://www.oir.ucf.edu/bryant/>
ジャマイカやハイチなどのカリビアンアートの作品を公開している。

DIEGO RIVERA Virtual Museum

http://www.diegorivera.com/diego_home_eng.html
メキシコの芸術家であるDIEGO RIVERA 氏の作品が公開されているページ。

ArtScene

<http://artscenecal.com/>
Gallery Pages ではたくさんの現代アートのギャラリーが紹介されている。

Internet Arts Museum for free

<http://www.artnet.org/iamfree/>
このページでは海外アーティストのハイレベルな作品が公開されている。

Dixon Gallery and Gardens

<http://gray.music.rhodes.edu/Dixon.html>
フランス印象主義派の絵画や18世紀ドイツの磁器などを展示している。

The Chrysler Museum Historic Houses

<http://www.whro.org:80/cl/cmhh/intro.html>
南ワシントン州の有名な芸術作品を展示。また、古いアメリカの建築物なども展示されている。

The Allen Memorial Art Museum

http://www.oberlin.edu/wwwmap/allen_art.html
アフリカ、アメリカ、アジアなどの芸術作品が展示されている。

Cleveland Museum of Art

<http://www.clemusart.com/museum/index.html>
Collection Highlights では30000近くの絵画、彫刻などの膨大な数の作品が展示されている。

THE BUTLER INSTITUTE OF AMERICAN ART

<http://www.butlerart.com/>
Permanent Collection ではベニー・アンドリュースをはじめとするアメリカンアートを見ることが出来る。

Huntsville Museum of Art

<http://www.hsv.tis.net/hma/>
Art On View では彫刻をはじめとする美術作品が公開されている。展覧会のスケジュールもある。

UC Berkeley - University Art Museum / Pacific Film Archive

<http://www.uampfa.berkeley.edu/>
ギャラリーをムービーデータで見ることが出来る。また、Art Exhibitions ではたくさんの洋画を見ることが出来る。

John and Mable Ringling Museum of Art

<http://www.sarasota-online.com/ringling/welcome.html>
Peter Paul Rubens をはじめとする素晴らしい洋画が公開されている。

Norton Museum of Art

<http://www.gate.net/~iii/norton/>
このバーチャルミュージアムではさまざまな作品を展示している。

Internet Art Gallery

<http://www.gtp.com/art/index.html>

Special Collections ではたくさんのアーティストが紹介されているが、中でもAJO Press のページの動物を描いた作品は一見の価値あり。それらの作品は購入することもできる。

Virtual Gallery

<http://cezanne.daum.co.kr/gallery/third.html>

さまざまなフォトアートギャラリーが公開されている。

Thames Street Virtual Gallery

http://www.interscribe.com/www_data/tsvg_related/featured.html

たくさんの油絵の作品が紹介され、販売もしている。

M.C. Escher's Virtually Gone Gallery

<http://www.acm.uiuc.edu/rml/Gifs/Escher/>

だまし絵で有名なエッシャーのコレクションがある。

The ArtVark Gallery

<http://www.fwi.uva.nl/~boncz/artvark/>

絵画やCGなどのアートギャラリー。ページごとのアクセス統計表が見れる機能がある。

Galleria degli Uffizi

<http://www.italia.com/televisual/uffizi/>

西洋の古典美術の作品が数多く展示してある。Rooms index では13世紀や14世紀の絵画が展示されている。

Bentley Gallery

<http://www.cyberenet.net/~roy/bentley.html>

10数名の海外アーティストの作品が紹介されている。

Campo & Campo

<http://uc2.unicall.be/campo/>

中世の絵画などのを数多く収蔵したギャラリーページ。

THE COLUMBIA MUSEUM OF ART

<http://www.scsn.net/users/cma/>

ルネッサンス期、バロック期などの美術工芸品などの作品が見れるギャラリー。

High Museum of Art Home Page

<http://isotropic.com/highmuse/highhome.html>

アフリカンアートやアメリカンアートなどたくさんの国の美術作品が紹介されている。

Glenbow Welcome

<http://www.lexicom.ab.ca/~glenbow/>

現代美術作品や歴史的な美術作品などを紹介している。

The Detroit Institute of Arts

<http://www.dia.org/>

HighlightsのTreasures of Venice ではヨーロッパ中世期の絵画を中心に紹介している。

The Nickle Arts Museum

<http://www.ucalgary.ca/~nickle/>

館内情報をはじめ他の美術館やギャラリーなどへ数多くリンクを張っている。

Find Arts

<http://www.Find-Arts.com/Data/findarts.html>

さまざまな芸術家のホームページを作ったり、作品を紹介している。また、それらを検索することもできる。

Paintings of Vermeer

<http://www.cacr.caltech.edu/~roy/vermeer/>

17世紀のオランダの画家フェルメールの作品集を紹介しているページ。

ヨーロッパの美術館

ArtHouse

<http://www.demon.co.uk/creative/arthouse/>

イギリスにある美術施設ArtHouseのページ。ArtHouse Children では3歳や6歳の子供たちが創った芸術作品が見れる。

Paris Art

<http://www.paris.org/ParisArt/>

パリに住む芸術家やギャラリーの紹介、また、美術作品も見れる。

Museums in the Netherlands

<http://www.nbt.nl/holland/museums/home.htm>

オランダの美術館を検索できる。検索のカテゴリーがたくさんあるので便利。

The Pushkin Museum of Fine Arts

<http://www.rosprint.ru/art/museum/pushkin/>

モスクワにあるプーシキン美術館のページ。彫刻、絵画をはじめとする所蔵品が公開されている。

Contemporary Russian Fine Arts On-Line Gallery

<http://www.kiae.su/www/wtr/artinfo/begin.html>

ロシアの現代美術ギャラリーのページ。文字化けしてしまうが、作品は鑑賞できる。

Luxembourg's National Museum of History and Art

<http://www.men.lu/Musee/LUXMUSE.HTML>

ルクセンブルグの歴史美術館のページ。館内の案内などが見れる。

Istanbul Museum of Painting and Sculpture

<http://www.msu.edu.tr/services/irhm/irhm-home.html>

イスタンブールにある美術館のページ。ヨーロッパ各国の美術作品が見れる。また、買うこともできる。

アジア・アフリカの美術館

KOMA Virtual Museum

<http://anet.net/koma/>

Virtual Gallery では韓国の絵画などが紹介されているKorean Artがある。

The Online Museum of Singapore Art & History

<http://www.ncb.gov.sg/nhb/museum.html>

シンガポールの美術館などが紹介してあるページ。シンガポールの芸術家の作品なども紹介している。

Welcome to the Birmingham Museum of Art

<http://www.hansonlib.org/>

古代中国の王朝である秦の始皇帝の宝物などが紹介されている。

PMA Galleries

<http://libertynet.org/~pma/html/gallery.html>

東アジアやインドの美術作品を扱うアートギャラリーのページ。

Lin Hsin Hsin Art Museum

<http://www.ncb.gov.sg/lhh/lhh.html>

かわいイラストが満載のシンガポールのオンライン美術館。バスツアーやミュージアムショップ、カフェなどのコーナーも用意されている。

Asian Arts

<http://www.webart.com/asianart/index.html>

このギャラリーではアジアの数々の彫刻品を展示している。アジアの美術品を扱ったページへのリンク集も充実している。

Durban Art Gallery

<http://durbanet.aztec.co.za/exhib/dag/dagmain.htm>

南アフリカにあるアートギャラリー。南アフリカの芸術家の作品が見れる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp